

薬代で医療費節約 「薬代」を見直しましょう!

「ジェネリック医薬品」はもっとも簡単な医療費節約方法です



当健保ではジェネリック差額通知を発行しています

当健保では、医師からの処方により薬を購入された方で、ジェネリック医薬品に切り替えることにより500円以上の差額が出る場合、ジェネリック差額通知を3カ月ごとに年4回、個人別にご自宅へ送付しています。今回は7月上旬に発送しました。

調剤ごとに、ジェネリックに切り替えるといくら節約できるか一目でわかります。医療費を節約するためにも、この機会にジェネリックに切り替えてみましょう。

目標は、2020年9月までにジェネリック普及率80%

国は、2020年9月までのなるべく早い時期に、普及率(数量ベース)を80%以上とする目標を設定しています。

2018年の統計では、健保組合での使用率は74.1%。もう少し普及の努力が必要です。

●保険者ごとのジェネリック医薬品使用状況

2018年3月(単位%)

	医療保険適用計								
	被用者保険計					国民健康保険計			後期高齢者
		健保組合	共済組合	協会一般		市町村国保	国保組合		
数量ベース(新指標)	72.8	74.5	74.1	73.7	75.0	73.6	73.7	72.0	70.7

※出典:厚生労働省・調剤医療費(電算処理分)の動向

※「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量

※新指標は、(後発医薬品の数量)÷((後発医薬品のある先発医薬品の数量)+(後発医薬品の数量))で算出

そもそもジェネリック医薬品とは?

ジェネリック医薬品(後発医薬品)は、新薬(先発医薬品)の特許が切れた後に製造販売される、新薬と同等の有効成分、効能、効果を持つ医薬品のことです。新薬開発コストがかからないので薬の価格を安くできることがメリットです。

服用期間が長い薬こそジェネリック

ジェネリックの価格は新薬の約2~7割です。生活習慣病のように服薬期間が長い薬ほど節約できる額が大きくなり、より効果を実感できます。

ジェネリックに不安がある場合はお試しで

ジェネリックへの変更が心配な方は「お試し調剤」があります。たとえば処方箋が1カ月分の場合、最初の1週間分だけジェネリックを調剤してもらって、問題がなければ、残りの3週間分もジェネリックで調剤してもらえます。

ジェネリックを希望するときは

1. 診察のとき

かかりつけの医師に、ジェネリックの処方ができるかを相談してみましょう。

2. 処方箋をもらったら

処方箋の「変更不可」の欄にチェックがないことを確認してください。チェックがある場合には、ジェネリックに変更することができません。

3. 調剤薬局で処方箋を渡すとき

薬剤師にジェネリックを希望することを伝えましょう。



後発医薬品(ジェネリック医薬品)の使用促進について【厚生労働省】▶



日本ジェネリック製薬協会▶



体に正しく行っていますか?!

監修:大阪成蹊大学教育学部教授 岡田邦夫

上手に水分補給

夏本番。汗をたくさんかくこの季節は水分補給がかかせません。体中の水分が不足して脱水症になると、脳梗塞や心筋梗塞の発症リスクを高めてしまいます。また、水分補給をしているつもりでも、間違っただけで命とりになることも。正しい水分のとり方を身につけましょう。



詳しくはWEBで▶

